

【講師プロフィールおよび基調提案骨子】

岩川 直樹先生



埼玉大学教育学部教授

関係論的な視点から教育の臨床的研究を行っている。学校に行って、授業に立ち会い、教師たちと語り合う。そこでの出来事を、学生たちと分かち合ったり、本を読んで問い直したり、文章を書くことで見つめ直したりしてきている。

人間の自律のプロセスは、関係を必要としなくなるのではなく、関係の質を変革することにある。全体のシステムにあわせるだけの「主体形成」を越えて、互いに主体となる関係を編み直してゆくこと。子どもにも、教師にも、そういう場が必要だ。

武田 育夫先生



長野県教育委員会教育長

公益社団法人信濃教育会 前会長

元教員 県内中学校理科教員

長野県教育委員会指導主事 教学指導課課長

伊那小学校 校長 伊那中学校 校長

自律した学習者を育成するために、信濃教育会も郡市教育会も、教師自身の「自律」を目指してきたのではないか。

令和5年度 長野上水内教育会 事業報告

1 会員数 1,476名 (R5.6.30現在)

2 役職員

- (1) 顧問 永井克昌
- (2) 会長 (代表理事) 野口茂雄
- (3) 副会長 (業務執行理事) 田原克彦 平井八重子
- (4) 理事 松島良次 長井裕之 清水克則 桂本久美子 宮本由希子
馬場広一 大田裕一
- (5) 監事 駒津美恵 加藤好章 伊賀千冬
- (6) 常任委員 丸山真弘 後藤真道 嶋田勝彦 小林浩一 宮尾昭広
片山ますみ 宮崎桂子
- (7) 幹事長 霜田里美
- (8) 幹事 寺島 努 竹腰益臣 小林和子 西沢和彦 佐藤俊彦
清水秀昭 今田利弘 村上晃司 矢澤 剛 野田俊司
栗林えり子 大橋あゆみ 西沢直樹 佐藤恵美
- (9) 事務職員 田川昌彦 神頭久典 諸岡治子
- (10) 信濃教育会関係役員
常任委員 野口茂雄 田原克彦
代議員 永井克昌 平井八重子 霜田里美 早川孝一 松島良次
片山ますみ 後藤真道
補欠員 丸山真弘

3 会 議

- (1) 総会 5回
- (2) 役員会 理事会 10回 常任委員会 9回 支会連絡会 2回
幹事会 13回 監査会 1回

4 事業の概要

(1) 研究調査事業

「語り合おう 深めよう 広げよう」をスローガンとして、教職員のライフステージに応じた3つの部門を設け、会員が身近な教育課題についての研究や現下の教育課題や学校現場の喫緊の課題に応えるための研究を行う。市教育センター研究委員会との共同研究を進め、委員の力量向上を図る。教科研究部は、1委員会7名程度の委員とし、原則全員が授業公開を行う。

- ① 教師力向上部 授業づくりの課題や悩み、工夫や喜びを語り合える場 (4委員会)
 - ・ 共育塾企画運営・エデュケーションオンラインカフェ長野上水内
 - ・ 楽しい授業と学級づくり・わかる授業と学級づくり
- ② 教科研究部 授業を通して、教師の指導力向上に向けた実践研究の場 (13委員会)
 - ・ 国語・社会・算数／数学・理科・生活科／総合的な学習・音楽・図工／美術
 - ・ 体育／保健体育・家庭科／技術家庭科・外国語活動／英語・道德教育・特別活動

- ・特別支援教育
- ③ 特別企画部 学習教材の開発、教育会や地域を調査し伝える研究の場（10 委員会）
 - ・デジタル広報・科学展・図工美術展・書写書道展・教材データベース
 - ・地図作成・社会科資料作成・会報編集・会誌編集・教育会沿革史
- (2) 講演講習事業
 - ① 総集会 5 月 13 日(土) 参加者数 407 名
 - ・開催方法(会場): オンラインと教育会館参集のハイブリッド開催
 - ・講師: 上智大学教授 奈須 正裕先生
 こたえのない学校代表理事 藤原 さと先生
 ファシリテーター: 信濃教育会会長 武田 育夫先生
 - ・鼎談テーマ: 「自律した学習者の育成～学びのその先へ～」
 - ② 講師研修会
 - 第 1 回 5 月 19 日(金) 講師: 篠ノ井西小学校校長 海沼敦先生 参加者 39 名
 - 第 2 回 11 月 13 日(月) 参加者数 24 名
 講師: 信州大学教育学部非常勤講師 岸田 優代先生
 信州教師塾 B(信濃教育会と共催)
 - ③ 初任者研修会 (市教委と共催) 4 月 11 日(火)長野市教育センター 参加者数 69 名
 - ④ 夏季大学 7 月 28 日(金)～8 月 1 日(火) 1～4 講座 教育会館よりオンライン
 - ・7 月 28 日(金) 第 1 講座 (教育)
 講師 大阪多様性教育ネットワーク共同代表 土田 光子先生 参加者数 217 名
 演題「自分を解放するための人権教育～部落問題学習を通して～」
 - ・7 月 28 日(金) 第 2 講座 (哲学・教育)
 講師 熊本大学教育学部准教授 苫野 一徳先生 参加者数 338 名
 演題「民主主義の土台としての学校づくり～学校に“対話の文化を”～」
 - ・8 月 1 日(火) 第 3 講座 (自然科学)
 講師 青山学院大学教授 福岡 伸一先生
 演題「生命を捉えなおす～動的平衡の視点から～」 参加者数 246 名
 - ・8 月 1 日(火) 第 4 講座 (文学)
 講師 金子みすゞ記念館館長 矢崎 節夫先生
 演題「今、こだますとき～みすゞさんのまなざし～」 参加者数 230 名
 - ・7 月 31 日(月) 第 5 講座 (歴史)
 講師 長野市立博物館協議会会長 宮下 健司先生
 テーマ「善光寺地震跡を訪ねる」 参加者数 48 名
 - ・7 月 31 日(月) 第 6 講座 (哲学)
 講師 県立大学グローバルマネジメント学部教授 馬場 智一先生
 テーマ「哲学ランドアートと哲学対話」 参加者数 39 名
 - ・7 月 31 日(月) 第 7 講座 (自然科学)
 講師 戸隠地質化石博物館研究員 田辺 智隆先生
 テーマ「戸隠の地層から長野の大地の生い立ちを学ぶ」 参加者数 38 名
 - ・7 月 31 日(月) 第 8 講座 (歴史)
 講師 真田宝物館学芸員 降幡 浩樹先生
 松代文化財ボランティア 徳嵩 雄司先生 参加者数 45 名

- テーマ「真田信之が描いた松代の城下町～真田信之御霊屋見学と城下町構想」
- ・ 7月 31 日(月) 第 9 講座 (自然科学)
講師 野尻湖ナウマンゾウ博物館館長 近藤 洋一先生
テーマ「野尻湖の水はどこへ～野尻湖の持続可能な水利用を考える～」 参加者数 30 名
 - ・ 7月 31 日(月) 演劇の夕べ
講師 俳優 水澤 心吾さん 長野市芸術館アクトスペース
テーマ「決断～命のビザ SEMPO 杉原千畝物語～ (一人芝居)」 参加者数 157 名
- ⑤ 教育懇談会 8 月 5 日(土) 長野上水内教育会館よりオンライン 参加者数 332 名
講師：成城中学校・高等学校 前学校長 栗原 卯田子先生
演題「魅力ある学校づくり～公立私立の学校改革の経験から～」
近況報告 日野小学校校長 徳武 真弓先生 鎌田小学校教頭 高橋 康弘先生
- ⑥ 冬季大学 9 月～2 月
これまで行われてきた同好会の講演会や、特別企画部共育塾企画運営委員会の研修講座等をパッケージ化して会員に広く広報することにより、後期の教育会活動や同好会活動の活性化を図る。
＜共育塾企画運営委員会＞
第 1 回共育塾 10 月 10 日(火) オンライン開催
講師：信州大学教職支援センター准教授 荒井 英治郎先生 参加者数 28 名
「教師の本分～教師がやること、やらないこと～」
第 2 回共育塾 11 月 14 日(火) オンライン開催
講師：信州大学教職支援センター准教授 荒井 英治郎先生 参加者数 22 名
「未来の学校～これからの学校に求められること～」
第 3 回共育塾 11 月 23 日 (祝)
講師：戸隠地質化石博物館研究員 田辺 智隆先生 プラタナベ (フィールドワーク)
「善光寺平の大地の生い立ちを地質学の視点で読み解く!」 参加者数 25 名
- ⑦ 哲学対話 2 月 17 日(土) 信州大学教育学部参集およびオンライン
講師 東京大学大学院教授 梶谷 真司先生
演題「学びと哲学対話」講演と演習 参加者 113 名
- ⑧ Ed カフェ長水 年間 6 回オンライン
中心講師：信濃教育会会長 武田育夫先生 埼玉大学教育学部教授 岩川直樹先生
委員が自らテーマを決め、互いの教育観について語り合い、深め合う
- (3) 研修助成事業
- ① 研修補助
- ・ 個人・グループ研修補助 前期 22 本 後期 35 本 計 57 本
 - ・ 同好会補助 21 同好会
 - ・ 同好会講演会補助 教育カウンセリング・集団づくり同好会 河村 茂雄先生講演会
 - ・ 同好会県大会補助 なし
 - ・ 支会活動補助 7 支会
 - ・ 研究団体補助 科学展、図工美術展、書写書道展、今を生きる子どもの絵展
- ② 会誌「長野上水内教育」第 15 集発行
- ③ 各種研修補助報告書 第 14 集発行
- (4) 教育図書研究調査事業

- ① 社会科資料集作成 わたくしたちの郷土
 - ② 地図作成
 - ③ 教材データベース 各種資料を教材データベースとして HP に掲載
 - ④ デジタル広報 長野上水内教育会 HP をリニューアル
- (5) 生涯学習支援事業
- ・施設貸与

令和5年度収支決算の概要

科目		内容	決算額（円）
経常収益 A	受取会費	会費等	33,147,966
	事業収益	会館使用料 印税等	1,208,873
	受取補助金	更級教育館維持管理 市町村教委 等	1,849,445
	受取負担金	雑誌取扱手数料	171,320
	雑収益	預金利子 電柱敷地使用料 等	47,676
	経常収益合計		36,425,280
経常費用 B	研究調査費	研究委員会旅費 諸謝金 賃借料 等	1,052,531
	講演講習会費	夏季大学 総集会 哲学講演会 等	3,646,477
	研修助成費	個人グループ研修補助 同好会補助 等	4,934,232
	会誌等発行費	会誌 研修報告書 沿革史 等	1,050,930
	教育図書研究調査費	社会科資料等 委員会旅費	160,170
	事業共通費	事務局給料手当 退職給付引当金 会議旅費 減価償却費 備品費 消耗品費 修繕費 委託費 光熱水料諸費 租税公課 保険料 賃借料 等	11,946,755
	管理費	会議費 会報発行費 事務費 等	10,590,744
経常費用合計			33,381,839
財産額	当期経常増減額	A－B ＝当期一般正味財産増減額	3,043,441
	一般正味財産期首残高		211,422,532
	一般正味財産期末残高		214,465,973

令和5年度事業報告ならびに収支決算書については、4月12日（金）に行われた第1回総会で承認されています。詳細は各校代議員がお持ちの「令和5年度事業報告」「令和5年度収支決算書」をご覧ください。なお、収支決算書は、4月8日（月）に行われた会計監査会において監査を受け、監査報告についても第1回総会の場で承認を受けています。

【参考】令和５年度 同好会一覧

	同好会・研究会名	責任者名・学校名	実務担当者名・学校名	テーマ	会員数	
					会員数	内教育委員会数
1	長野上水内国語研究会	小池 勲 若槻小	伊藤 均 柳町中	言語活動を効果的に取り入れ考える力を育む国語学習のあり方～言葉による見方・考え方を働かせて、考え深げて表現するために～	29	27
2	長野上水内社会科教育研究会	瀧田 勇治 七二会中	塚尾 誠貴 市立長野中	社会的な見方・考え方を働かせ、一人一人が学びを深めていく社会科学習のあり方～社会とのつながりを感じ、自ら関わっていく児童・生徒の育成を目指して～	74	69
3	長野上水内算数数学教育研究会	櫻井 清志 城東小	飯島 政昭 桜花中	数学的に考える資質・能力の育成に繋がる数学的活動のあり方	70	60
4	長野上水内理科教育研究会	寺島 努 松が丘小	原田 修平 共和小	自然を主体的に探究する力を育てる理科学習	90	72
5	長野上水内英語同好会	片山 洋一 城山小	山田 崇史 川中島中	友と関わり合いながらコミュニケーション能力を高める子ども	34	31
6	長野上水内音楽教育同好会	島立 仁美 下氷駒小	池内 克江 湯谷小	児童・生徒の実態に即した音楽指導のあり方	65	60
7	長野上水内体育学習指導研究会	石神 王貴 川中島小	片井 千秋 櫻ヶ岡中	すべての子どもが夢中になり、健康で豊かなスポーツライフの実現をめざす体育学習の創造 ～「わかる」「できる」「かかわる」楽しさの深化と普及～	98	90
8	長野上水内技術・家庭科教育研究会	霜田 里美 山王小	小島 一生 北部中	一人一人が自ら拓く技術・家庭科の学習はどうあったらよいか	46	31
9	長野上水内道徳教育学会	松谷 かおる 牟礼小	松谷かおる 牟礼小	考え、議論することを通してよりよく生きるための自覚を深めていく道徳の授業のあり方	15	14
10	長野上水内総合生活科教育研究会	清水 秀昭 南部小	牧野 豊 朝陽小	自立を育む総合・生活科の創造	28	28
11	長野上水内道元の心に学ぶ会	鈴木 聡 青木島小	太田 考一 三陽中	とらわれない生き方を学び、教師としての資質を高める	18	3
12	長野上水内教育カウンセリング・集団づくり同好会	片山 洋一 城山小	吉岡 典彦 戸陽中	予防・開発的カウンセリングを用いた学級集団づくり	44	39
13	長野上水内書写書道教育研究会	小池 勲 若槻小	北村百合香 三陽中	古典に基づいた書技能の習得・調和の取れた書表現と書写書道教育の望ましいあり方の究明	61	41
14	長野上水内哲学同好会	野口 茂雄 緑ヶ丘小	宮島 新 城山小	教師としての資質を高めるには、どうしたらよいか ～哲学書の読み合わせを通して～	30	26
15	長野上水内美術教育研究会	小林 浩一 小川中	坂井 大輝 三陽中	私っていいね！～作り出す形・色、響き合う感性、今を生きる私たち～新しい時代に生きる子どもたちに豊かな美意識を育てるためにはどうしたらよいか	41	30
16	長野上水内小学校管楽器教育研究会	島立 仁美 下氷駒小	宮澤 豊 緑ヶ丘小	子どもたちの表現意欲を高める管楽器の指導法とバンド運営	24	16
17	長野上水内幼年教育研究会	清水 秀昭 南部小	長谷部謙一 朝陽小	語ろう・知ろう・感じよう 接続期の子どもたち	107	50
18	長野上水内視覚障がい教育研究会	青木 昭 長野盲	田中 瑞絵 長野盲	見え方に配慮を要する児童・生徒への教育的支援のあり方	52	8
19	長野上水内子どもの学びの質を考える会	駒津 美恵 七二会小	下崎 大吾 七二会小	子ども一人一人の学びの深まりを志向する授業づくり～「その子の今」から「その子の育ち」を考える～	60	25
20	長野上水内FIR教育研究会	小松 恭子 若槻養護	吉田 希 若槻養護	不登校を減らし、予防したりする具体的な対応はどうあったらよいか	66	38
21	長野上水内掃除に学ぶ同好会	後藤 真道 豊野中	中村 明史 豊野中	清掃を通して、教師としての自己のあり方を見つめ直す	14	12

令和6年度 一般社団法人 長野上水内教育会事業計画

1 会員数 1,484 名 (R6.5.7 現在)

2 役職員

- (1) 顧問 野口茂雄
- (2) 会長 (代表理事) 早川孝一
- (3) 副会長 (業務執行理事) 霜田里美 清水秀昭
- (4) 理事 宮沢忠利 長井裕之 清水重光 藤倉佳子 阿部悦夫
馬場広一 桐生 彰
- (5) 監事 関川あかね 加藤好章 上原芳則
- (6) 常任委員 山中美佳 後藤真道 田中耕史 小林浩一 宮尾昭広
片山ますみ 山口直行
- (7) 幹事長 寺島 努
- (8) 幹事 清水直人 小林和子 友野裕一 宮澤俊樹 水上淳一
中村恭之 今田利弘 土屋真貴子 目黒哲朗 中村深志
栗林えり子 梨子田昌央 西澤直樹 中島紀子 内田潤一
- (10) 事務局 田川昌彦 神頭久典 諸岡治子
- (11) 信濃教育会関係役員
常任委員 早川孝一 霜田里美
代議員 野口茂雄 清水秀昭 寺島 努 勝野 学 山中美佳
桐生 彰 後藤真道
補欠員 島立仁美

I 基本方針

一 教育を取り巻く状況と課題

(1) 状況

- ① 個人や社会の well-being の実現や持続可能な成長発展を目標とする動き
- ② 急速な技術革新に伴う IoT や AI の進歩による society5.0 時代の到来
- ③ 多様な子どもたちの資質・能力の育成への要請
- ④ 人口減少・少子高齢化に伴う児童生徒数の減少、教職希望者数の減少

(2) 課題

- ① 予測困難な時代(VUCA の時代)に対応した教育の実現
- ② 多様化する児童生徒への対応 (個別最適な学びと協働的な学びの充実、特別な教育支援を必要とする児童生徒への対応等)
- ③ 学校における働き方改革と人材育成

二 事業推進の基本

1 教育会の主題

「自律した学習者の育成～学びのその先へ～」

2 運営の基本方針 <自ら求め 人を知り 人とつながり 学び続ける>

- (1) 定款第2章に定める長野上水内教育会の目的及び事業に基づき、職能団体として機

能を十分に発揮し、その実現を期する。

- (2) 教職が創造的で魅力ある仕事であることが再認識され、教師自身が士気を高め、誇りを持って働くことができるよう、新時代の学びを先取するとともに働き方改革の実現を図り、未来の長野上水内教育を背負っていく人材を育成する。
- (3) 「多様な他者との対話と協働」を活動の基盤に据え開かれた教育会運営に努める。

3 運営の重点

(1) 研究委員会・同好会の充実

- ① 教師力向上部：ミドルリーダー・若手教員の力量の向上 Ed カフェ長水（対話）の普及
- ② 教科研究部：授業力の向上 市教育センターとの共同研究 原則委員全員授業公開
- ③ 特別企画部：教育会の歴史・文化の継承 幅広い委員の選出
- ④ 人材の活用：県・市指導主事、(株) 柏与・信教印刷など専門家の助言
- ⑤ 特別支援学校会員の増加：特別支援学校幹事・研究委員会世話係・委員の委嘱
- ⑥ 同好会との連携：同好会実務担当者会 わくわくリーダーズながのの企画

(2) 多様で魅力ある事業の推進と働き方改革

- ① 教育会の研修を法定研修の校外研修に位置づけ 会員の研修履歴として蓄積
- ② 初任者研修会：市教育センターと共同開催
- ③ 信濃教育会・北信他郡市教育会との連携：研修参加乗り入れ・重複の回避
- ④ 夏季大学・冬季大学：一流講師の招聘 オンラインと参集のハイブリッド型研修
- ⑤ グローバルな視野を持った教員の育成：海外教員視察派遣（ニュージーランド）
- ⑥ 対象を焦点化した研修の実施：産育休者 再任用者

(3) ICTの効果的な活用と積極的な情報提供

- ① 情報発信のデジタル化：ホームページ スクリレ 公式YouTube チャンネル
- ② ICTによる業務効率化：Googleform・QRコードによるアンケートや申込 Googlechat・Googledriveの活用 ペーパーレス化の試行
- ③ 学校のICT活用のフロンティア：MAXHUB Zoomアカウント貸与と技能の継承
- ④ 個人情報の保護：HP掲載（動画映像や個人名などの配慮）

(4) 地域、企業、市民、各種教育機関との協働

- ① 講演講習事業への保護者・児童生徒・一般市民の参加 HP 児童生徒作品展の実施
- ② 他団体との協働：長野市教育委員会「わくわくリーダーズながの」 中学校長会「生徒会サミット」
- ③ 他団体との連携：参加募集の乗り入れ 県シニア大学・退職校長会・賛助会等
- ④ 信州大学との連携：学生の授業参観や夏季大学への参加呼びかけ
- ⑤ 信濃教育会・他郡市教育会との連携：懇談会の実施
- ⑥ 積極的な会議室貸与：教育会収入の安定化

II 事業内容

一 人材育成及び人材育成支援事業

1 研究調査事業

(1) 研究委員会

「語り合おう 深めよう 広げよう」をスローガンとして、教職員のライフステー

ジに応じた3つの部門を設け、会員が身近な教育課題についての研究や現下の教育課題や学校現場の喫緊の課題に応えるための研究を行う。市教育センター研究委員会との共同研究を進め、委員の力量向上を図る。教科研究部は、1委員会7名程度の委員とし、原則全員が授業公開を行う。

- ① 教師力向上部 授業づくりの課題や悩み、工夫や喜びを語り合う場（4委員会）
 - ・ 共育塾企画運営・エデュケーションオンラインカフェ長野上水内・楽しい授業と学級づくり・わかる授業と学級づくり
- ② 教科研究部 授業を通して教師の指導力向上に向けた実践研究の場（13委員会）
 - ・ 国語・社会・算数／数学・理科・生活科／総合的な学習・音楽・図工／美術
 - ・ 体育／保健体育・家庭科／技術家庭科・外国語活動／英語・道徳教育
 - ・ 特別活動・特別支援教育
- ③ 特別企画部 学習教材の開発、教育会や地域を調査・伝承研究の場（9委員会）
 - ・ デジタル広報・科学展・図工美術展・書写書道展・教材データベース
 - ・ 地図作成・社会科資料作成・会報編集・会誌編集

※ 教科等研究委員会については、同好会活動の活性化支援のため、同好会による教科等研究委員会への自己推薦制度(団体自己推薦)を引き続き取り入れる。

※ 年度末に研究のまとめをHPに掲載して発信、全会員とその成果を共有する。

※ 国語、社会科、算数/数学、理科、外国語活動/英語、体育/保健体育、道徳の7委員会は、長野市教育センターの研究委員会との共同研究を行う。

(2) 研究調査・実践研究の方向性や基本計画等を話し合う。

- ①研究委員会世話係会 ②研究委員長会 ③研究総委員会

2 講演講習事業

(1) 総集会

長野上水内教育会の主題「自律した学習者の育成～学びのその先へ～」の実現に向け、会員の職能向上に係る研修の場として内容の充実を図る。講演会については、マスコミ等にも依頼して参加を広く一般にも呼びかけ、共に研修することを通して教職員や教育会への信頼を高める。

① 期日 5月18日（土）午前

② 開催方法 オンラインと長水教育会館参集のハイブリッド開催

③ 内容

・研究委員会活動報告と座談会（教育対話）

テーマ「自律した学習者の育成～学びのその先へⅡ～」

座談会 コーディネーター：長野県教育委員会教育長 武田 育夫先生

パネラー 埼玉大学教育学部教授 岩川 直樹先生

令和5年度 Ed カフェ長水 委員の皆さん

(2) 講師研修会 5月24日（金）11月15日（金）の2回

研修機会の少ない常勤・非常勤講師、支援員等について、教師としてのあり方を学び、研鑽を積む機会を確保するとともに、学校を超えたつながりをもつ場とする。第2回は「長水セミナー」として信濃教育会と共催、参加対象を広げて実施。

(3) 初任者研修会 4月9日（火）

長野市初任者研修会と協働して実施する。上水内の先生方も参加する。長野上水

内教育会・信濃教育会についての理解を深めるとともに、教師としての自覚と意欲を高める研修の場とする。

(4) 夏季大学 7月30日(火)～8月1日(木)

教師としての生き方の根幹を問い、教師としての専門性(授業力の基礎等)を磨くとともに、人間性の向上を図る。会員以外の教職員や一般の参加も募り、地域ともども生涯学習の機会とする。思想・哲学、自然科学、芸術、教育、歴史等の9講座と音楽の夕べを開催する。

- ① 開催方法 第1～4講座：オンラインと長水教育会館参集のハイブリッド開催
第5～9講座：現地での臨地講習

音楽の夕べ：若里市民文化ホール

② 内容 7月30日(火)第1講座(歴史)30回記念講演

講師 長野市立博物館協議会会長 宮下 健司先生

演題「時を刻む長野の景観と私たち」

7月30日(火)第2講座(思想・哲学)

講師 作家・詩の道化師 ドリアン 助川先生

演題「私たちはなぜ生まれてきたのか」

～小説『あん』でハンセン病回復者の人生を描いた意味～

7月31日(水)第3講座(教育) 初任研対象講座

講師 大阪多様性教育ネットワーク共同代表 土田 光子先生

演題「差別の構造を考える」

～知る・重ねる・深める・つながる・行動する力をつけるために～

7月31日(水)第4講座(自然科学)

講師 青山学院大学教授 福岡 伸一先生

演題「生命を捉えなおす～動的平衡の視点からⅡ～」

8月 1日(木)第5講座(芸術)長野県立美術館

講師 県立美術館 学芸専門員 青山 由貴枝先生

テーマ「鑑賞とは～『よくみる』ってなんだろう～」

8月 1日(木)第6講座(哲学)黒姫童話館

講師 県立大学ソーシャル・イノベーション学科講師 神戸 和佳子先生

テーマ「こどもの世界へ～童話の森で哲学対話～」

8月 1日(木)第7講座(自然科学)戸隠森林植物園

講師 戸隠地質化石博物館研究員 田辺 智隆先生 中村 千賀先生

テーマ「戸隠森林植物園や奥社周辺の自然を学ぶ」(地質班・植物班)

8月 1日(木)第8講座(歴史)松代方面

講師 エコール・ド・まつしろ倶楽部代表 曲尾 正子先生 他5名

テーマ「真田十万石城下町の伝統文化を体験」

真田紐 古武道 投扇興 松代雅楽 松代と童謡 2講座選択

8月 1日(木)第9講座(自然科学)野尻湖方面

講師 野尻湖ナウマンゾウ博物館館長 近藤 洋一先生

テーマ「野尻湖の水位変動と地球環境～水の歴史を探る～」

8月 1日(木)音楽の夕べ 若里市民文化ホール

出演者 シンガーソングライター 絵本作家 このの ひとみさん

テーマ「小さな声に耳を傾けていますか？～絵本による命の授業～」

(5) 教育懇談会

長野上水内出身・在職の先生方が一堂に会し、講演や懇談を通して学び合い、県下各地の情報を交換し親睦を深め合う機会にする。

- ① 期日 8月3日(土) 午後
- ② 会場 ホテルメトロポリタン長野
- ③ 内容 映画上映

「夢みる校長先生～子どもファーストな公立学校のつくり方～」

(6) 冬季大学

従来行われてきた研修に加えて、各同好会の研修・講演会等をパッケージとして示すことによって、より多くの会員に参加してもらえようとする取り組みをさらに進める。

オンライン講演会 講師：熊本大学教育学部准教授 苫野 一徳先生

演題「体験してみよう！本質観取」

日時：11月30日(土) 10:00～12:00

(7) 教師力向上部「共育塾企画運営委員会」企画『共育塾』

青年教師（経験年数の少ない教職員（常勤・非常勤講師を含む））が、悩みを共有したり、中堅教師に学んだりする場とする。また、ミドルリーダーが研修講座を企画運営したりすることによって、教師としての力量を高め互いの絆を深める。冬季大学期間中も含め複数回実施。

(8) 教師力向上部「Ed カフェ長水」（エデュケーションオンラインカフェ長野上水内）

中堅・中核教員が年間を通じて中心講師から学び、互いの教育観を語り合い、深め合うことを通して、力量を高め、互いの絆を深める機会とする。

中心講師：埼玉大学教授 岩川 直樹先生 信濃教育会会長 大日方 貞一先生

(9) 哲学対話

哲学を学ぶ気風を長野上水内教育会として継承し、さらに若い教職員が哲学を学ぶ気風を高めるため、今年度も梶谷真司先生を講師にお迎えして、哲学対話を通して教育実践者としての自らの見方・考え方を深め広げる機会とする。

- ① 期日 2月15日(土) 午後
- ② 会場 信州大学教育学部参集およびオンライン
- ③ 内容 講演 講師：東京大学大学院教授 梶谷 真司先生
演題：「考えることと書くこと～対話的文章法の試み～」

3 研修助成事業

研修に対する補助金は、会員の主体的な活動で、その研究活動、研究内容が十分に意義あるものと認められるものに交付し、その充実と活性化に努める。また、その研究内容を多数の会員または一般の方に発表できるよう取り組む。

(1) 研修派遣

個人の資質向上のため研修派遣を行う。

日本連合教育会研究大会 7月25日(木)～26日(金) 愛媛大会

信濃教育会総集会 7月 6日(土) 北安曇大会

信州教育の日 11月16日(土) 山ノ内大会

(2) 研修補助

① 個人・グループ研修補助 42名程度 3万円

② 個人・団体視察派遣（県内外）

③ 海外視察派遣

期日：8月9日（金）～18日（日）10日間

派遣先：ニュージーランド ロトルアの小学校および教育機関

実習内容：実習校における授業およびホームステイ

派遣教員：4名

④ 同好会補助

○ 補助金額 2万円＋長野上水内教育会所属会員数×1名 1,200円

⑤ 同好会等県大会補助

○ 1大会3万円以内

○ 本教育会地域内での実施、本教育会後援、主催団体としての該当同好会

(3) 支会活動補助

支会活動の意義等の共通理解を深め、各支会の独自性を持った活動の充実と小中連携、会員の資質向上に努める。支会連絡会を行い、それぞれの特色を生かした活動について情報交換するとともに、支会のあり方や問題点について検討する。

○ 支会研修補助額 10万円＋250円×長野上水内教育会所属会員数

○ 支会講演会補助 3万円

(4) 教育研究団体等補助

① 科学展・図工美術展・書写書道展の運営及び補助を行う。

② 教育懇談会の運営及び補助

(5) 研究報告書の発行

① 個人研修や視察派遣、同好会の研修を研究報告書にまとめ各校に配付する。

(6) 同好会活動の活性化

① 同好会の総会の日時・場所等を集約し、会員に周知する。

② 会誌にて活動紹介・報告をする。

③ 同好会の研修や講演会等の情報を、HPを通じて会員に周知する。

④ 各同好会実務担当者と教育会との連携を図るため、同好会実務担当者会議を設ける。

⑤ 「わくわくリーグズながの」を同好会の協力のもとで実施することを通して、同好会との連携を深める。

4 教育図書研究調査事業

委員会を組織して地域に関する調査をし、その成果を地図(長野市・上水内郡)、資料集(わたくしたちの郷土)、教材データベース(HP)としてまとめ、授業への活用を図る。組織する委員会は特別企画部内の3委員会とする。

① 地図作成 ②教材データベース ③社会科資料作成

5 生涯学習支援事業

(1) 施設貸与

教育会会員など教師で構成する教育研究団体、一般教育研究団体、公益を目的とした

児童・生徒及び地域住民に教育会館の会議室等を貸与する。貸与規程については各々別に定める。

① 施設を貸与する会館は次の通りとする。

○長野上水内教育会館 ○更級教育館

② 実施内容は次の通りとする。

○会員、教職員の会議、研究会、企画展等の貸与

○一般地域住民への貸与

(2) 地域・企業・関係団体との連携

講演講習事業の参加乗り入れなど、県シニア大学、退職校長会、郡市PTA連合会、賛助会等と連携を深める。

(3) 他団体との共催事業

① 生徒会サミット（中学校長会との共催）

8月31日（土）長野上水内教育会館参集 2月5日（水）オンライン

② わくわくリーダーズながの（長野市教育委員会と共催）年6回 同好会企画

III 管理・運営のための諸会合等

1 会 員

長野市及び上水内郡に所在する学校の教職員並びに教育関係機関職員で、この法人の目的及び事業に賛同し、入会した者をもって組織し、定款に基づいてその目的達成に向け事業を行う。

2 代議員の選出

会員を代表し、毎年4月実施の会員による選挙で各校1名の代議員を選出する。

3 役員・機関の職務及び権限の概要

(1) 総会

① 代議員によって構成する。

② 事業年度終了後3ヶ月以内に1回、本会の業務及び財産の執行に関し審議する。

③ 他に必要がある場合には定款に基づいて総会を開催する。

(2) 監事会

① 支会ごとに監事候補者を選定し、総会の決議により選任、3名以内で構成する。

② 本会の業務執行及び財産の状況を監査しその健全性を維持する。

(3) 理事会

① 支会ごとに理事候補者を選定し、総会の決議により選任し、3名以上11名以内で構成する。

② 理事の中から会長1名、副会長2名を理事会の決議により選定し、会長は代表理事、副会長は業務執行理事として本会の目的達成のため代表して業務にあたる。

③ 理事会は、本会事業推進のため幹事会・常任委員会を設置し、業務執行原案等の作成・検討、各担当部署との連携・執行にあたる。また、必要に応じて他の委員会を設置することができる。

(4) 常任委員会

① 支会ごとに常任委員候補者を選定し、総会の決議により選任する。

- ② 本会事業推進のため、年8回程度開催し、業務執行の検討、業務指導等、その執行にあたる。
- (5) 幹事会
 - ① 理事会の決議により幹事候補者を選任し、会長が委嘱する。
 - ② 本会事業推進のため、年13回程度開催する。業務執行原案の作成・検討をし、各部署との連携をして執行にあたる。
- (6) あり方委員会
 - ① 理事会の決議により委員候補者を選任し、会長が委嘱する。
 - ② 長野上水内教育会の今後のあり方、会館維持等の課題等を協議する。

4 諸会合の予定

- (1) 会計監査【長野上水内教育会館】 4月8日(月)
- (2) 総会【Zoomによるオンライン】第5回は参集（更級教育館）
 - ① 4月12日(金) ② 4月30日(火) ③ 6月24日(月) ④ 1月31日(金)
 - ⑤ 3月 3日(月)
- (3) 理事会【長野上水内教育会館】
 - ① 4月12日(金) ② 4月19日(金) ③ 4月25日(木) ④ 6月13日(木)
 - ⑤ 6月28日(金) ⑥ 9月 5日(木) ⑦ 10月 8日(火) ⑧ 11月22日(金)
 - ⑨ 1月17日(金) ⑩ 2月17日(月)
- (4) 常任委員会【長野上水内教育会館】
 - ① 4月19日(金) ② 4月25日(木) ③ 6月13日(木) ④ 6月28日(金)
 - ⑤ 9月 5日(木) ⑥ 10月 8日(火) ⑦ 11月22日(金) ⑧ 1月17日(金)
 - ⑨ 2月17日(月)
- (5) 幹事会【長野上水内教育会館】
 - ① 4月12日(金) ② 4月19日(金) ③ 4月25日(木) ④ 6月13日(木)
 - ⑤ 6月28日(金) ⑥ 7月12日(金) ⑦ 9月 5日(木) ⑧ 10月 8日(火)
 - ⑨ 11月22日(金) ⑩ 12月 6日(金) ⑪ 1月17日(金) ⑫ 2月17日(月)
 - ⑬ 3月24日(月)
- (6) 支会連絡会【長野上水内教育会館】
 - ① 6月13日(木) ② 2月17日(月)
- (7) 研究委員会
 - ① 世話係会 5月 2日(木) ② 総委員会 5月10日(金) オンラインで開催
 - ③ 研究委員長会 5月30日(木) 10月28日(月) オンライン 2月10日(月)
 - ④ 各委員会は総委員会時での年間計画による。
- (8) 同好会（研究会）実務担当者会議 2月3日（月）

5 広報

- (1) 委員7名程度で会誌編集委員会を組織し、会員の声を生かしつつ、学術資料として、また機関誌としての情報の提供や教育研究資料の累積、会員の資質向上等を願って年間1号の会誌を編集・刊行する。本会及び7つの支会の事業内容をはじめ、教育活動・研修活動・報告・意見・教育理念等、教育会の機関誌として親しみやすい編集に心がける。

- (2) 委員 7 名程度で会報編集委員会を組織し、年間 3 号を発行する。
- (3) 本会の活動内容を広報するためにHPを作成し、適宜更新する。そのためにデジタル広報委員会を設置。内容の検討を行い、充実を図る。

令和6年度 更正収支予算書概要 R6.4.30 第2回総会で承認済み

科目		内容	予算額 (円)
経常収益A	受取会費	会費 (1,400 人)	33,172,100
	事業収益	会館使用料 印税 等	1,034,000
	受取補助金	更級教育館維持管理 市町村教委 等	2,014,000
	受取負担金	雑誌取扱手数料	150,000
	雑収益	預金利子 電柱敷地使用料 等	75,000
	経常収益合計		36,445,100
経常費用B	研究調査費	研究委員会旅費 諸謝金 賃借料 等	1,036,200
	講演講習会費	夏季大学 総集会 哲学対話 等	3,934,000
	研修助成費	個人グループ研修補助 同好会補助 等	6,604,100
	会誌等発行費	会誌 研修報告書 等	1,090,000
	教育図書研究調査費	社会科資料等 委員会旅費	138,500
	事業共通費	事務局給料手当 退職給付引当金 会議旅費 減価償却費 備品費 消耗品費 修繕費 委託費 光熱水料諸費 租税公課 保険料 賃借料 等	12,172,501
	管理費	会議費 会報発行費 事務費 等	11,047,430
	経常費用合計		36,022,731
財産額	当期経常増減額	$A - B = \text{当期一般正味財産増減額}$	422,369
	一般正味財産期首残高		214,465,973
	一般正味財産期末残高		214,888,342